

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

1 趣旨

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業は、現場に密着した農林水産分野の試験研究の迅速な推進を図るため、平成14年度に創設された提案公募型の競争的研究資金である。

農林水産業の現場においては様々な技術シーズが存在しており、農林漁業者のみならず地方大学や製造・流通・販売業者等を含めた生産現場周辺のシーズを活用して新技術や新商品の開発を行い実用化・企業化を図ることにより、地域の活性化が期待される。ただし、これらの実用化・企業化を成しとげるためには、単なる技術開発にとどまらず、需要先を見すえた商品開発、安定した原料供給、流通経路の開拓等、多分野に渡る取組みが求められ、異なる分野の専門家が結集して推進する必要がある。

このため、「独創的現場シーズ活用型研究」を発展的に組替え、生産の現場周辺で技術シーズを持つ地方大学等の知的・人的資源を活用するとともに、コーディネート機関を参画させることにより、研究開発から実用化段階までを各機関が戦略的に連携して、研究成果の普及・実用化を一層加速化させ、農林水産業の振興を図り、もって地域活力の再生を図る「現場連携支援実用化促進型」とする。

また、採択枠を拡充することにより、リスク管理型研究の強化を図る。

2 内容

産学官による共同研究グループ等から以下の研究課題を公募し、採択された案件に対し委託研究を実施。

(1)研究領域設定型研究

①全国領域設定型研究

農林水産省が毎年度提示する農林水産施策推進上必要な全国ベースでの研究領域に対応した研究

1) 一般型

2) リスク管理型

フードチェーンの各段階で実施すべきリスク管理措置に資する研究等、研究段階からリスク分析関係機関と連携して取り組むことが有効な研究領域に対応した研究を強化

②地方領域設定型研究

地方農政局等が毎年提示する農林水産施策推進上必要な地方ベースでの研究領域に対応した研究

(2)地域活性化型研究

①現場連携支援実用化促進型研究（新規）

コーディネート機関による連携調整の下、地方大学をはじめとする産学官の研究機関等の関連機関がネットワークを形成し、研究成果の普及・実用化を加速化させる研究

②地域競争型研究

地域固有の特産物等地域資源を活用し、地域産業を活性化する研究

③広域ニーズ・シーズ対応型研究

複数地域が抱える共通問題を効果的・効率的に解決するための研究

(3)府省連携型研究

他府省の基礎・基盤的研究で生まれた技術シーズや他分野の研究成果を農林水産分野に積極的に応用する研究

(4)緊急課題即応型調査研究

農林水産分野の緊急課題に対応して、短期間（原則1年以内）で取り組む調査研究

3. 実施主体 独立行政法人、公立試験研究機関、大学、民間企業、農林漁業者等

4. 実施期間 平成14年度～平成23年度

5. 平成18年度概算決定額 4,872（3,823）百万円

【担当課：農林水産技術会議事務局 地域研究課】